

顔の見える関係づくり

地域の専門職と一緒に学ぼう

第4回

(総合編)

人生会議のはじめの一步

2023年2月16日(木)

場所 : イワサクリニック かほり館スタジオ

時間 : 10:00~11:45 (開場 9:45~)

第一部 病院で「死ぬ」ということ 原 澄子から

第二部 「人生会議のはじめの一步」
もしばなカードを使って考えてみましょう



一人で過ごせなくなったら
どうする?どこで最期を迎
えたい?重いタイトルだけ
ど一度考えてみませんか!?

※参加者のマスクの着用
体温測定、手指消毒の
ご協力をお願い致します。

かほり館スタジオ案内図

お問い合わせ

一般社団法人 あゆ実

住所 寝屋川市成田東が丘33-15

『E-mail』 ayumi.a.2021@outlook.jp

Tel 072-835-8301

代表理事 小牧実千代



65歳以上対象(ご家族の参加も可能)先着30名様 まずはご連絡下さい。

※駐車場は御座いません。近くのコインパーキングをご利用下さい。

顔の見える関係作り 「人生会議のはじめの一步」総合編 2023年2月16日(木)

研修のまとめ

参加人数 12名 ケアマネジャー1名 地域包括支援センター2名 訪問看護ステーション1名 講師1名

アンケート回収8名

性別 男性 女性

年齢 30代 1名 40代 3名 50代 3名 60代 0名 70代 1名 80代 0名

参加理由

- ・ケアマネジャー連絡会から
- ・もしばなカードに興味がありました。
- ・ポストに人生会議のはじめの一步のチラシが入っていたから
- ・もしばなカードを体験させて4頂きたかつた為
- ・興味があったから
- ・地域の介護・看護に興味があります。
- ・同圏域内施設で事業され、死について考えるテーマにも興味がありました。

参加回数

1回目 2名 2回目 2名 3回目 3名 4回目 1名

満足度

70% 0名 80% 1名 90% 0名 100% 7名

平均97.5%

満足度の理由

- ・初めて「もしばなゲーム」に参加させて頂きました。大切に思っていることや価値観が聞け勉強になりました。
- ・楽しく色々な方の思いも聞けよかったです。
- ・たいへん満足しました。
- ・原さんのお話がとても勉強になりました。もしばなカードを体験でき、グループの方ともしばなカードを通じて色々なお話ができた事も良かったです。楽しく学べました。
- ・自分の考えや思いが整理ではた?方向性が見出せた?かなあ
- ・グループワークで他の方の価値観に触れ、自分との違いを感じ新鮮でした。カードを通して深く話をする事ができ貴重な機会だと思います。
- ・原先生の内容もよかったです。もしばなゲームのファシリテーターもうまくいきました。
- ・練習でやった時と、今日でまた違った思いになれたこと。

心に残っている言葉

- ・家族と一緒に過ごす。家族を大事にしていること。自分で大切に思っていること。
- ・カードを選んでいく中で年れいによって考えも変わると思いました。
- ・あなたはどのように人生を終わらせたいですか
- ・どう生きるか

- ・環境や背景で価値観ちがうけど
- ・ご家族を看取られた後の方は思いが定まっていて2回ともほぼ同じになられた。
- ・自分がどんな治療をしてほしいかを考えておく。「すべてがうまくいきますように」「プラン75」の映画
- ・家族とやってみた方が実際におられた事

困りごと

- ・無回答 6
- ・コロナ禍があけ、人との交流の再構築
- ・ターミナルの方へのご支援の際の医療の知識が学びたい。

希望のテーマ

- ・無回答 5
- ・介護予防や難病支援など
- ・こんかいのもしばなカードを何回かしてもらいたい。
- ・終末期ケア
- ・薬剤師・歯科の内容の話をお願いします。
- ・ターミナルケア

感想

- ・医療について、人生について考えられ有難かったです。素敵な機会にご参加させて頂きありがとうございました。
- ・よかったです。今後もご協力させて下さい。
- ・ゲーム感覚で楽しかったです。
- ・カードに悩みながら、自分の価値観を見つめなおす、振り返ることが出来ました。また呼んで下さい。

「病院で死ぬということ」講義についての質問

- ・安楽死について

評価

参加人数が少なかったが、アンケートでは高評価を得られている。講義内容も良く、勉強になったとの感想もあった。もしばなゲームが初めての方、何度か体験して参加した方、それぞれまた価値観を見つめなおす機会になったと感じる。重いテーマではあるが、生きている以上避けて通れない課題だと思う。自身が物言えなくなった場合誰にそれを委譲するのも課題かもしれない。自分がどう生きたいか、どのように最期を迎えたいのか自身が考え伝える事が大切になる。

専門職の間でも知られていないもしばなゲームを広げる事で、人生最期の場面での価値観の違いや価値観を尊重する事が再認識されるのではないだろうか？

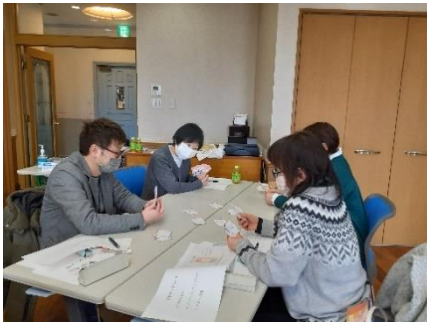
事前連絡をして下さった人も2件あったが、1名の参加になった。急な寒波もあり、寒い時期は避けた方がよいのかもしれない。参加人数の増をどうやって行くのかが来期の課題となる。

研修のまとめ



原理事から「病院で死ぬということ」と題し
話して頂きました。皆さん真剣です。

参加して頂いた地域の専門職の方々の
自己紹介の場面です。



もしばなゲームの場面です。
皆さんカード選びに真剣です。